



【発行】 日立一高同窓会白聖会  
【編集】 井上 清  
【事務局】 〒317-0063 日立市若葉町3-15-1  
(日立一高内)  
TEL ☎ 0294-22-6488  
HP http://hitachi-hakua.jp  
E-mail ✉ info@hitachi-hakua.jp  
※ お急ぎの連絡はメールでお願いします

## 毎年10月の総会で、同窓生のつながりを広げよう！



2019(令和元)年10月26日(土)、ホテル天地閣に於いて、同窓会白聖会の総会・懇親会が開催されました。和やかな雰囲気、懇親会では食事をしながら同窓生が相互に親睦を深める時間となりました。

総会は、創立記念日の10月28日に近い土曜または日曜に毎年開催しています。日立一高の卒業生であればどなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。(お申し込み方法は、本誌の裏表紙またはホームページからご確認ください)



日立第一高等学校  
同窓会白聖会  
会長 井上 清



日立第一高等学校  
2019(令和元)年度  
校長 梶 清史



日立第一高等学校  
2020(令和2)年度  
校長 青木 睦人

日立一高同窓会白聖会の会員の皆様には、日頃より白聖会の目的であります「会員相互の連絡親睦・母校の発展」の達成のため、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

母校日立一高は、時代の変化やグローバル社会に対応し、附属中学校が開校され中高一貫教育が始まるとともに、その後も、サイエンス科や医学コースが設置されるなど、新しい時代にふさわしい発展を続けております。

そして附属中学校が設置された際に、超難関大学や医学部への合格者をコンスタントに輩出できるような中高一貫校を作り上げるという目標に対し、着実に有力大学等への合格者を出すなど、目標に向かって順調な結果を出してきており、今年度の卒業生からも素晴らしい報告が聞けるものと期待しております。

また、部活動の面においても、運動部及び文化部ともに関東大会や全国大会出場を果たして活躍をされており、まさに、文武両道の伝統を守る日立一高の面目躍如たるところであり、卒業生としてこの上ない喜びであります。

これも偏に、校長先生はじめ諸先生方の熱心なご指導の賜物と、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、母校日立一高は、2027(令和9)年に創立100周年を迎えます。そのため昨年、本部役員5名、常任理事・理事4名及び事務局2名の体制による「創立100周年記念事業準備委員会」を立ち上げ、当面の活動としまして、100周年に向けてのこれまでの歩みの総括と、既に記念事業を実施した他校の事業調査等を行っていくこととしております。

今後100周年に向けて準備を進めてまいりますので、会員の皆様には、職域・地域・女性会支部組織に加えて、卒業年次ごとの結束と連帯の強化に向けて、更なるご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員各位のご健勝とご活躍、そして母校日立一高のますますのご発展を、心よりお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。

日立一高同窓会白聖会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき、ありがとうございます。平成31年4月に本校に赴任しました、梶清史と申します。微力ですが、伝統ある本校発展のため力を尽くしていくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、県の施策により、平成31年度入学生から本校に医師養成のための「医学コース」が新設されました(水戸一高等5校)。サイエンス科の1コースで、病院等と連携した講演会や体験学習、受験に向けた小論・面接指導等を行い、医師希望の生徒を今まで以上に支援していきます。

また、米国海外研修に換え、サイエンス科2年生全員対象の「ベトナム海外研修」を開始しました。結合双生児だったドク氏の講演や戦争証跡記念館での平和学習、現地科学大学や大学生との交流による異文化理解・科学研修等、大きな成果を得ることができました。ご支援いただいている英国海外研修も、例年以上の高い評価をいただいております。

さらに、部活動ではラグビー部(中・高)、卓球部、水泳部、陸上競技部、物理部、地学部等が関東大会や全国大会に駒を進めました。附属中2年生のチームは「科学の甲子園ジュニア全国大会」で6位入賞という、素晴らしい成績を残してくれました。

これからも、学業そして部活動等とおして、次代を担う逞しいリーダーを育成していきたいと存じます。同窓会の皆様には、今までと変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ 井上会長と梶校長には、2020年2月に原稿を依頼・執筆していただきました。

※ 梶校長は、今年の定期人事異動により、水戸三高へ異動されました。

白聖会の皆様には、日立一高・附属中学校の教育活動にご支援頂きましてありがとうございます。このたびの人事異動に伴い、令和2年4月から本校に赴任いたしました、どうぞよろしくお願いいたします。微力ですが、伝統ある本校発展のため力を尽くしていくつもりです。

高校並びに附属中学校の近況について、コロナウイルス感染症拡大防止のために、卒業生と保護者のみ参加という規模を縮小した卒業式の開催ではありましたが、この3月には、高入生と附属中学校の3期生併せて240名が卒業し、4月には高入生と附属中学校からの6期生併せて240名と附属中学校9期生80名が入学しました。

進路状況ですが、東北大学、筑波大学、東京工業大学などに国立大学に97名、公立大学に29名が現浪合わせて合格しました。医学部医学科には筑波大学に1名、東京医科大学に1名、聖マリアンナ医科大学に1名の計3名が合格しました。ここ数年の本校の中高一貫校としての成果も受けて、県内に今年度は5校、来年度は、水戸一高と土浦一高に本校と同じ併設型の中学校が、勝田高校が中等教育学校として開校する等県内に本校を含め13校が中高一貫校となります。

次いで部活動ですが、ラグビー部、卓球部、陸上部、水泳部などが関東大会へ駒を進めています。特にラグビー部は、2年連続県大会2位で、力をつけてきていると感じています。文化部においては、地学部、物理部等の文化部も全国大会に駒を進めるなど多くの部が活発に活動しています。

そして、同窓会からご支援をいただいております、イギリス海外研修ですが、やはり、世界各地でのコロナウイルスの影響で開催ができるかどうか現時点では不透明な状態となっています。しかし、本校のグローバル化に対応した国際教育を、幅広く進める準備は進めていきたいと思っております。

最後になりますが、白聖会の益々の発展を御祈念申し上げるとともに、本校に対する変わらぬ、ご指導、ご鞭撻、そしてご支援賜りますようお願いいたします。

陸上部 関東大会で  
めざましい活躍!

2019 (令和元) 年 6月14日~17日  
に開催された「関東陸上競技選手権大会」に陸上部が出場し素晴らしい成果を残しました。



陸上部 集合写真

3000m 障害 関東 7 位

高校 3 年 白石 達也

私は、6月14日から17日に行われた北関東高校総体に3000メートル障害の茨城県代表として出場してきました。

予選から自己ベストに近いタイムでフィニッシュし、北関東のレベルを痛感しましたが、それでも決勝ではベストを更新してインターハイを決めるというプランを立てていたので、きちんと気持ちを切り替えることができました。

決勝では、上半分の6番以内でレースを進めることを意識し、最初から格上の相手に臆することなく、食らいついて行きました。結局、最後半周からの勝負で振り切られてしまい、2秒差の7位でインターハイを逃してしまいました。

自己ベストを更新しても届かなかった全国への壁はとても分厚く、自分の力では及ばないものでした。しかし、県立高校の普通の生徒でも、私立の強豪がひしめき合う北関東の舞台で勝負できるんだということを見せられたかなと思います。

最後になりますが、応援してくださった全ての方々、本当にありがとうございました。



やり投げ 関東 7 位

高校 2 年 中野 玲亜

僕は、今回の茨城県総合体育大会のやり投げでベスト4に入り、関東大会に出場しました。関東大会では茨城開催だけあって僕に対する応援がとても熱く大きく、競技は個人種目ではありましたが、団体戦のようなあたたかみを感じました。特に、投げるとき「行きまーす」と大きい声で宣言すると「はい」というさらに大きい声が返って来た時は、とても僕の心は鼓舞されました。

僕がやり投げを始めたのは去年の11月頃からです。それまで長距離をやっていましたが、途中の傷や、先輩、先生の勧めがありやり投げをやることにしました。短期間で上達するために多くの先輩方に教えていただきました。そして藤澤先生をはじめ他校の先生方にもたくさん教えていただきました。

今回は7位というとても辛い経験をしましたが、僕には来年がある、来年はインターハイで優勝するという目標を持って、これからも努力していきたいです。

男子走高跳 関東 9 位

高校 3 年 井坂 フミヤ

僕は関東大会に走り高跳びで出場しました。結果は190cmで9位。良い結果を持ち帰れませんでした。

大会当日練習飛躍が上手くいったため、緊張感の中少し心に余裕が持てました。そして迎えた本番。スタートは185cmで3回目になんとかクリア、流れで190cmを一発でクリアできました。次に迎えた195cmは一度も跳べたことがなく、そして今回も跳べずに終わりました。ノートなどにまとめた記録を用いて、当日の状態を完璧にして挑みましたが、それでも届きませんでした。単純に実力不足でした。

関東9位。インターハイに出場できるのは6位以内で、可能性があっただけにとても悔しいです。今でもふとした時に試合風景が思い出され、こうすればもっと跳べたのでは、と後悔してしまいます。今もこれを書いていて鼓動がうるさいし、吐きそうです。

しかし、こんな僕でも関東大会という大きな舞台で戦えたのは、誰よりも楽しく競技ができたこと、そして周りの方々の支えがあったからです。

応援してくださったみなさま、本当にありがとうございました。

女子走高跳 関東 8 位

高校 3 年 鈴木 姫乃

私は6月14日~17日に行われた関東高校総体に出場しました。結果は8位で、自己ベストも出すことが出来ずに終わってしまいましたが、これまでの陸上人生の中で一番楽しく、他の選手と堂々と戦うことができた試合だったと思います。

今大会で、改めて陸上の楽しさを知り、陸上も部員のみならず一層大好きになりました。ここまで頑張れたのも、一緒に戦ってきたみんなの存在があったからです。みんなの走る姿や跳ぶ姿、投げる姿が本当に大好きで、陸上部に入って良かったと心から思いました。

また、藤澤先生にはたくさんの事を教えていただきました。プレッシャーで押しつぶされそうになったことも何度もありましたが、試合前に先生はいつも私にパワーを送ってくれました。

どんなときも前向きな言葉だけをくれました。普段は冗談ばかり言っていますが、誰よりも生徒一人一人をよく見てくださり、たくさん向き合ってくださいました。藤澤先生に愛情あふれる指導をいただけて嬉しかったです。ありがとうございます。素敵な先生に、仲間に、後輩に出会えて幸せな部活動でした。



円盤投げ 関東 11 位

砲丸投げ 関東 19 位

高校 3 年 小嶋 ひより

私は6月14日から17日に笠松運動公園で開催された、関東高等学校陸上競技大会の女子円盤投げと女子砲丸投げに出場しました。円盤投げでは11位、砲丸投げでは19位という結果でした。

私は、1年生の頃から4回関東大会に出場させていただきました。今回は、私にとって高校最後のインターハイにつながる大会だったので、インターハイ出場を目標に練習していました。私の本種目である円盤の試合当日は雨の中行われました。1投目で思うような記録が出せなかったため、2投目は記録を伸ばせるよう、おもしろい投げました。距離は飛んでいたのですが、前に足が出てしまい、ファールとなってしまいました。3投目も立て直すことができず、予選敗退という結果になってしまいました。

あの時足が出なければという後悔はいつまでも残ると思います。そして、結果として、インターハイ出場という夢は叶えることができませんでした。私の高校生活の中で1番の貴重な経験ができました。ずっと支えてくれた先生方、陸上部のみんな、茨城県の投てきのメンバー、両親への感謝を忘れず、これからいろいろなことに挑戦していきたいです。

ラグビー部 中高それぞれ活躍!



茨城合同 (清真中学・日立一附属中) チーム集合写真



高校ラグビー部 集合写真

附属中ラグビー部  
関東大会 ブロック優勝

中学 3 年 福田 怜平

私たち附属中ラグビー部は、6月8日、9日に山梨県御勅使南公園ラグビー場で行われた第70回関東中学校ラグビーフットボール大会に出場してきました。今回で5年連続出場となる大会で、ブロック優勝することができました。

1回戦は千葉日大第一中学校と対戦しました。序盤は緊張で動きが硬くなりミスを連発しましたが、徐々に緊張もほぐれ、本来の動きを取り戻すと、順調にトライを重ねることができました。しかし、点差が開き、30℃近い暑さもあってプレーが雑になってしまうことがあり、課題が残る試合でした。

決勝戦は東京代表の慶應義塾中等部と対戦しました。開始30秒でトライを奪い試合の主導権を握ることができました。その後同点に追いつかれましたが、プレーの改善点をメンバーで出し合った後、落ち着いたプレーで点差を広げることができました。終盤、1トライ差まで詰め寄せましたが、集中力を切らさずにプレーし続け、勝つことができました。

今回の関東大会では優勝することができましたが、満足のいく出来ではなかったため、そのことを修正できるように次の大会に向けて練習をしていきたいです。

卓球部 女子団体  
関東大会出場!

高校 3 年 加藤 芽依



私たちは、5月31日から埼玉県で行われた関東高等学校卓球大会の女子団体に出場しました。関東大会出場は、高校で部活を始めたときからの皆の目標でした。茨城県予選で3位になり、出場が決まった瞬間の喜びと感動は今でも覚えています。ここに至るまでにたくさんのサポートをくださった先生方、先輩方、そして親にとっても感謝しています。

大会の結果は、初戦敗退という悔しい結果でした。各都県を勝ち抜いてきたチームが集まるこの大会で勝ち上がっていくことは、やはり厳しいものなのだ改めて思いました。

高校ラグビー部 関東出場  
県予選 31 年ぶり決勝進出

高校 3 年 角田 祐弥

私達ラグビー部は、6月8・9日に神奈川県で行われた関東大会に出場しました。初戦の東京高校戦は、92対0、次の専修大松戸高校戦は33対14で、2試合で負けてしまいました。

この2試合を通じて、私は大きく感じたことがあります。それは、チームの体力のなさです。2試合とも、前半と後半では失点の差が大きいです。特に、2試合目は、前半は14対14と引き分けだったのに対し、後半は19対0と体力のなさがにじみ出る試合となりました。また、1人の相手を2人がかりで止めている、という場面が何回もあり、体重のなさも実感しました。体がなければ相手よりも走る距離が増え、疲れるのは当たり前です。体力と同様に、フィジカルも鍛えなければいけないと感じました。

2試合とも負けてはしまいましたが、自分たちの弱さがよく分かったいい大会でした。この悔しさを糧にして練習に励み、10月の花園予選に望みたいと思います。

(※その後、11月17日に行われた、全国高校ラグビー県予選で31年ぶりに決勝進出を決め、茗溪学園と対戦し、95対0で準優勝しました。終了間際にはトライのチャンスを作るなど、盛り上がる試合を見せてくれました。)

した。関東の中での実力を実感するとともに、この結果は私たちに、もっと頑張らなければいけないという刺激を与えてくれました。しかし、今まで多くの練習を積み重ねてきて、この関東大会という大きな舞台で試合できたことは自信にもなり、とても良い経験でした。

部活と勉強の両立は大変でしたが、最後まで諦めずに目標を達成することができて本当に良かったです。部活で培った経験を今後活かそうと思います。

水泳部 恒松さん  
インターハイ出場!

8月に沖縄県で開催された、第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(全国高校総体)の女子3m飛板飛込に、水泳部所属の恒松爽風さんが出場しました。



地学部  
全国総文祭で発表!

高校 3 年 高土 海都



私たち地学部は、国立佐賀大学で行われた、第43回全国高等学校総合文化祭が総文に自然科学部門、地学部門に「茨城県会瀬海岸でみられた4年間の海浜地形変動とその要因について」という研究テーマで発表を行いました。

昨年はポスター部門での出場でしたが、今回は構成が異なり、多くの人の前で発表する口頭発表での出場であり、とても緊張しました。しかし、無事に発表することができ、全国から集まった他校の生徒や大学教授の方々との有意義なディスカッションをすることができ、とても楽しかったです。また、他校の発表を聞く機会があり、研究の内容だけでなく、どのようなプレゼンテーションをすれば、興味を引きつけ、わかりやすく伝えることができるのかを学ぶことができ、これは大学生や社会人になっても役立つと思いました。

今回は、入賞することができませんでしたが、総文祭で過ごした4日間は、とても楽しく、多くのことを学ぶことができるとも貴重な経験になったと思います。

イギリス海外研修  
(1・2年生有志)



17回目の今回は、10月14日~25日に実施され、参加生徒は13名でした。ロイヤルラッセルスクールでの模擬国連へ参加しました。

# 部活動状況

2019年1月1日～12月31日

PTA広報 第103号・第104号より  
高校のみを一部抜粋して引用

2019（令和元）年度

# 大学入試結果

2020（令和2）年3月30日現在  
（詳細な結果は学校HPからご確認ください）

## 現役合格者数

区分	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31/令和元)
国公立大学 合格者数	99	97	127	134	134	<b>114</b>
私立大学 合格者数	290	287	315	252	298	<b>337</b>

卒業生数 239 239 239 238 237 240

令和元年度卒業生の大学入試結果の集計がまとまりました。今年度の特徴としては、国公立大学の合格者数については昨年度を大幅に下回りました（昨年度160名、過年度卒26名を含む）が、私立大学の合格者数は昨年度を大きく上回っております（昨年度327名、過年度卒29名を含む）。  
国公立大学の合格者が思うように伸びなかった要因は、今回で最後となった「センター試験」が昨年度よりも大幅に難化した影響を受け、全国的に受験生が上位の大学から中堅大学へと志願先を下げたことが考えられます。中堅の国公立大学を目指す者の多い本校生にとっては、これまで以上に激戦を強いられてしまいました。  
また、今年度は元より浪人生が少なかったため、浪人生の合格者数が大幅に減少したことも国公立大学合格者が少なかった要因のひとつといえます。  
ただ、一方で私立大学に関しては、「入学定員管理の厳格化」による昨今の私大の難化傾向のなかにあっては大いに健闘したとみてよいでしょう。

## 国公立大学 ※( )は既卒生で内数

[ 国立 ]		[ 公立 ]	
大 学	合格者数	大 学	合格者数
北見工大	2	宮城大	1
北海道大	1 (1)	山形県米沢栄大	1
北教大旭川校	1	福島県立医大	1
東北大	6 (1)	茨城県立医療大	7
山形大	4	高崎経済大	3 (1)
福島大	5 (1)	千葉保健医療大	1
茨城大	37 (4)	東京都立大	3
筑波大	13	神奈川保福大	1
宇都宮大	5	横浜市立大	1
千葉大	4 (1)	新潟県立大	1
東京外大	1	山梨県立大	2
東京学芸大	6 (1)	都留文科大	2
東京工業大	1	長野県立大	1
東京農工大	1	名古屋市立大	1
横浜国立大	1	京都府立大	1
新潟大	4 (2)	山口東京理科大	1
金沢大	1	名桜大	1
山梨大	1		
愛媛大	2		
熊本大	1		

公立大学合計 29 (1)

国公立大学合計  
**126(12)**

国立大学合計 97 (11)

短期大学	合格者数	その他	合格者数
常磐短大	1	茨城県産業技術短期大学校	1
ヤマギキ動物看護専門学校	1	中日本航空専門学校	1

## 私立大学 ※( )は既卒生で内数

大 学	合格者数	大 学	合格者数
医療創生大	11 (1)	東京家政大	7
茨城キリスト大	35	東京女子大	4
常磐大	3	東京電機大	6 (1)
国際医療福祉大	11	東京農大	13 (1)
獨協大	2	東京理科大	10 (3)
文教大	4	東洋大	22 (2)
神田外語大	1	日本大	24
千葉工大	15	日本女子大	6
青山学院大	2	日本体育大	3
学習院大	1	法政大	8
北里大	4	東京都市大	8 (1)
慶応大	4	明治大	8 (1)
国士館大	3	明治学院大	3
駒澤大	4 (1)	明星大	4
芝浦工大	9 (3)	立教大	8
順天堂大	1	早稲田大	2
上智大	1	麻布大	2
昭和女子大	3	神奈川大	9
女子栄養大	1	神奈川工科大	4
白百合女子大	2	関東学院大	3
成蹊大	1	マリアンナ医大	1
専修大	6 (1)	フェリス女大	3 (1)
中央大	16 (1)	関西大	1 (1)
津田塾大	4	近畿大	1 (1)
東海大	4	立命館アジア太平洋大	1 (1)
東京医大	1	その他	49 (2)

私立大学合計 **358 (21)**

今回はPTA広報紙の「部活動状況」から許可を得て引用掲載します。すべてを掲載しなかったのですが、紙面に入り切らないほど各部活で多くの成果があるため、全校表彰（県外出場、県内入賞）レベルを対象として一部抜粋という形で掲載しました。  
その中でも、水泳部の恒松さんが「飛込競技」、陸上部の中野さんが「やり投げ」で全国大会に出場、陸上部、ラグビー部、卓球部が関東大会出場という輝かしい成績をあげることができました。また、文化部では、地学部、物理部ともに全国高等学校総合文化祭（佐賀県）に出場。「文武両道」を実現すべく頑張っています。

## 文化部

- 地学部**
- ★ 第43回 全国高等学校総合文化祭 「茨城県会瀬海岸でみられた3年間の海浜地形変動とその要因について」
  - ★ 茨城県高文連自然科学部研究発表会 最優秀賞 「茨城県会瀬海岸でみられた4年間の海浜地形変動とその要因について」 →2020 全国総文祭へ出場
  - ★ 第13回 高校生生理科研究発表会 優秀賞
- 物理部**
- ★ 第43回 全国高等学校総合文化祭
  - ★ SSH 生徒研究発表会（神戸） 「風洞を用いた教室の換気についての実験」
- 化学部**
- ★ 茨城県高文連自然科学部研究発表会 優秀賞
  - ★ 日本化学会関東支部茨城地区研究交流会 奨励賞 「安全なジアゾカップリング反応におけるアゾ化合物の合成過程の確立」
  - ★ 第10回 高校生の科学研究発表会@茨城大学 口頭発表部門 優秀発表賞 「ゼッケン法を用いた油脂の劣化度合の測定方法の確立」
- 美術部**
- ★ 県高等学校総合文化祭美術工芸部門 入選 永山 夏伊 →2020 全国総文祭へ出品
  - 入選 菊池咲良 遠藤柰奈 佐藤優衣 安本蓮
- 写真部**
- ★ 県高等学校総合文化祭美術展覧会写真展 優秀賞 吉田 涼人 →関東高校写真展へ出展

- ギター部**
- ★ 全国高校軽音楽コンテスト 兼 茨城県大会 第3位 ヒクテアマタ

- 英語部**
- ★ 2019年度英語インタラクティブフォーラム 茨城県教育委員会教育長賞（13校中 第3位） タイトル「Junk Food」 大村 未来 池田 果南 橋田 麻由 花見 綾佳 仲村 ひかる
  - ★ 第7回 全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト 入賞 駒 啓吾
  - ★ 第9回 城西大学英語スピーチコンテスト テレビ埼玉賞 駒 啓吾
  - ★ 第15回 茨城国際学生会議 口頭発表部門 第1位 駒 啓吾
  - ★ 第13回 県高校英語スピーチコンテスト 優秀賞 小野 菜奈
  - ★ 第7回 常磐高校生英語プレゼンテーションコンテスト 第3位 松廣 あい子

- 演劇部**
- ★ 県高等学校総合文化祭高校演劇祭 優良賞

- 吹奏楽部**
- ★ 茨城県吹奏楽コンクール2019 高等学校の部 A部門 銀賞
  - ★ 茨城県アンサンブルコンテスト フルート四重奏 銀賞
  - クラリネット八重奏 銀賞

- 書道部**
- ★ 県高等学校総合文化祭美術展覧会 書道の部 出展 仙波 菜穂 竹俣 楓

## 文芸部

- ★ 第2回 茨城県高等学校文芸部中央大会 散文の部 互選賞 水口 華奈

## 運動部

- 水泳部**
- ★ 日本高等学校選手権水泳競技大会 出場 女子3m 飛板飛込 恒松 爽風
  - ★ 第70回 関東高等学校選手権水泳競技大会 女子100m 平泳ぎ 石川 海音 女子3m 飛板飛込 恒松 爽風 女子高飛込 恒松 爽風
  - ★ 第45回 茨城県高等学校新人水泳競技大会 男子平泳ぎ200m 第8位 今野 翔太 女子平泳ぎ50m 第2位 石川 海音 女子平泳ぎ100m 第2位 石川 海音 女子フリーリレー200m 第6位 女子メドレーリレー200m 第8位 女子3m 飛板飛込 第3位 恒松 爽風 女子3m 高飛込 第2位 恒松 爽風

- 陸上部**
- ★ U18日本陸上競技選手権大会出場 やり投げ 中野 玲亜
  - ★ 関東高等学校選抜新人陸上競技大会出場 男子800m・1500m 阿部 龍希
  - ★ 関東高等学校駅伝競走大会 女子 出場
  - ★ 関東陸上競技選手権大会 男子3000m 障害 第7位 白石 達也 男子やり投げ 第7位 中野 玲亜 男子走高跳 第9位 井坂 フミヤ 女子走高跳 第8位 鈴木 姫乃 女子砲丸投 小嶋 ひより 女子円盤投 小嶋 ひより

- ラグビー部**
- ★ 第67回 関東高校ラグビーフットボール大会 出場
  - ★ 第6回 全国高校7人制ラグビーフットボール大会 茨城県予選 第3位
  - ★ 県体連総合体育大会 兼 第99回 全国高校ラグビーフットボール大会 茨城県予選 準優勝 県高校ラグビー優秀選手 鈴木 大地

- 卓球部**
- ★ 関東高等学校卓球大会 女子団体 出場
  - ★ 第23回 関東高等学校新人卓球大会 兼 第47回 全国高等学校選抜卓球大会 関東予選会 女子学校対抗第2部 第5位

- ハンドボール部**
- ★ 関東大会茨城県予選 ベスト16
  - ★ 2019年度インターハイ茨城県予選 出場

- テニス部**
- ★ 関東高等学校テニス大会 茨城県予選会 男子団体 出場
  - ★ 茨城県高等学校テニス新人大会 茨城県予選会 男子団体 ベスト16

- バレー部**
- ★ 茨城県高校男女バレーボール新人大会 男子 ベスト16
  - ★ 茨城県バレーボール高校選抜大会予選会 男子 ベスト16
  - ★ 茨城県民総合体育大会 兼 茨城国体開催記念 高校男女バレー大会 男子 Cブロック優勝

## 弓道部

- ★ 茨城県高校総合体育大会 兼 全国高等学校弓道大会茨城県予選会 女子団体 第6位
- ★ 茨城県高校弓道個人選手権大会 男子1年生の部 第3位 鈴木 琉平

- 野球部**
- ★ 第72回 秋季関東地区高等学校野球大会 茨城県大会 ベスト16

- サッカー部**
- ★ 第98回 全国高校サッカー選手権大会 茨城県大会 ベスト16
  - ★ 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2019 FIFA リーグ 3部 第2位（2部昇格）

- バドミントン部**
- ★ 茨城県高校新人バドミントン大会 男子団体 ベスト16
  - ★ バドミントン高校総体茨城県大会 男子団体 ベスト16 女子団体 出場

- ソフトテニス部**
- ★ 茨城県高等学校ソフトテニス春季大会 兼 関東高校ソフトテニス大会茨城県予選会 男子団体 第3位
  - ★ 茨城県高等学校ソフトテニス新人大会 兼 茨城県高校ソフトテニスインドア大会予選 男子団体 ベスト16 男子個人 酒井・石倉組 ベスト8

## 定期異動（教諭関係）

転出・退職		
職名	氏名	転出先
校長	梶 清史	水戸三高
教頭(附属中)	高村 秀季	台原中(校長)
教諭	阪本 憲文	退職・高萩高(再任用)
教諭	佐藤 泰之	太田西山高
教諭	塚原 周平	東海高
教諭	比嘉 忠史	附属中
教諭	石川 雅昭	太田一高
教諭	伊藤 文詔	水戸一高
教諭	松本 現	土浦三高
教諭	助川 敬一	日立北高
教諭	深堀 いずみ	藤代高
教諭(附属中)	関根 規夫	水戸桜ノ牧高
教諭(附属中)	根本 伸一	多賀中
教諭(附属中)	藤田 淳司	日高中
教諭(附属中)	佐藤 裕一	日立一高

転入		
職名	氏名	前任校
校長	青木 睦人	高萩高
教頭(附属中)	木村 剛	守谷市立大野小
教諭	坂本 泰彦	佐竹高
教諭	川久保 典昭	高校教育改革
教諭	佐藤 裕一	附属中
教諭	平澤 良樹	高萩高
教諭	丹 佳織	磯原郷英高
教諭	古澤 亜紀	水戸農業高
教諭	オドノフ 飛鳥	太田西山高
教諭	前島 誠	国体障害者スポーツ大会局
教諭	鈴木 秀久	高萩高
教諭	森田 裕樹	結城二高
教諭(再任用)	金田 日利	鉾田二高
教諭(附属中)	比嘉 忠史	日立一高
教諭(附属中)	大久保博紀	日高中
教諭(附属中)	廣田 康祐	十王中

# 同窓会 支部だより

最新情報は各支部にお問い合わせください。

職場や、お住まいの近くの支部の活動にご参加を希望されるかたは、**15ページの同窓会支部一覧**からお気軽にご連絡ください。

## 多賀支部

支部長 橋政一  
1967(昭和42)年卒

当支部総会は、8月24日(毎年8月の第4土曜日に実施)昨年同様多賀駅前の中日軒で初参加4名を含め計25名で開催しました。

最初に白聖会会長の井上清さんより日立一高の現状についてお話をいただいた後議事に入り事業報告、会計報告を行い承認されました。

続いての懇親会は、令和最初ということで商品券を用意し、ビンゴゲームで楽しみながら飲む、食べるで話に花が咲き、瞬間に2時間が経過盛況のなか終了しました。



## 大みか事業所支部

支部長 松本一人  
1990(平成2)年卒

当支部は、日立製作所大みか事業所に執務する52名の会員で構成されております。

令和元年は、3つの行事を行いました。5月に、いつもお世話になっている大みか「かに料理赤津」さんでの総会開催、6月に西山荘CCでのゴルフ、12月に日立高鈴でのゴルフを行いました。

12月のゴルフは、なんとなんと、途中から雪となる状況でしたが、寒さに耐えながら18Hプレーすることができました。他のゴルフはあいついでリタイアしていたので、日立一高魂を見せつけることができましたと思います。

会員数減少の課題はありますが、今後も各種行事を通じて、親睦を深めていきたいと思っております。



## 笠間支部

支部長 畑中孝  
1965(昭和40)年卒

笠間支部の令和元年度総会・懇親会は、6月23日(日)に、友部駅近くの割烹「須藤」で開催しました。当日は、井上清同窓会会長のご臨席のもと12名が参加しました。

総会では、支部長あいさつ後、井上会長がごあいさつ。総会後の懇親会では、終始和やかな雰囲気の中、母校の思い出や近況を語るなど、親睦を深め、最後は「校歌斉唱」で締めくくりました。



## 豊浦・日高支部

支部長 立川伸平  
1961(昭和36)年卒

令和元年度の支部総会は、本部より井上清会長をお迎えし、9月5日(木)午後6時から日立金属日高クラブで開催されました。井上会長は挨拶の中で、「母校では、昨年度中高一貫になって初めて附属中生が第一回卒業生を出したが、現役東大入学をはじめ、難関校も含め国公立大学への現役入学生が増えた。日立一高では、学力の向上はもとより、部活動の推進、海外研修制度、理系・医学系の充実などにより更なる躍進が期待されている。ついては、同窓会員の皆様には今後とも浄財をはじめ、在校生への支援と協力をお願いしたい。」と母校の現状と援助について熱く語られました。

議事に入り、事業報告、収支決算、一年ごとの役員改選等について審議され、全て可決承認されました。

懇親会では、恒例の自己紹介・近況報告等が行われ、最後に全員で校歌を斉唱しエールを切って再会を期しつつ散会しました。



## 東京支部

会長 玉木崇之  
1978(昭和53)年卒

ある新聞の読者投稿によれば、同窓会を継続させるコツは5つ。①毎年同じ時期に実施する、②同じ人が幹事をする、③式次第も同じにする、④場所も同じにする、⑤解散前に次回の日程を発表する。

東京同窓会は、毎年7月第1土曜日に、同窓会役員が、お馴染みの式次第で、大手町サンケイプラザで行われます。5つのコツを満たしているためか、安定して150~170名が参加しています。その多くはいわゆる「リピーター」です。来年もまた来たいと思える同窓会にしたいと思っています。

令和になって最初の東京同窓会は7月6日(土)に行われました。156名の同窓生が集まり、7名の来賓の方々にご参加いただきました。(水戸一高・東京知道会から会長および副会長、茨城県営業戦略部から2名、本校・校長先生、茨城県教育長、本校同窓会理事会から1名)

例年通り、「総会、講演会、懇親会」の3部構成です。講演の部では、茨城県教育長・柴原宏一さん(昭和48年卒)より、「教員の魅力」について、非常に興味深い観点からのお話をいただきました。懇親会では、立食形式のクラス別テーブルや出身中学別テーブルなど、様々な共通要素で出会うように考慮するとともに、フルーツ&ピアノ演奏なども楽しんでいただきました。抽選会では、多くの同窓生から景品を提供していただいたおかげで例年にも増して大変好評いただきました。



さて、2020年の東京同窓会は、オリンピック開会を3週間後に控え、東京はオリンピックムード一色に染まっていることを想定し、オリンピックの雰囲気をつぶりと味わっていただける企画を考えていました。しかし、誰も予想できなかったコロナ一色に染まってしまい、残念ながら中止せざるを得なくなりました。来年は平時の日本に戻っていることを願うとともに、たくさんの同窓生のご参加をお待ちしております。

尚、限られた予算で行っておりますので、往復はがきの出欠返信を数年間ただけていない方には案内を停止しております。復活されたい方や、案内が届いたことのない方、お問い合わせ等は以下にお願いします。

hitachi1\_tokyo\_dousoukai  
@ yahoo.co.jp

(文字間はハイフン「-」ではありません。アンダースコア「\_」です)

## 常北支部

支部長 高久利夫  
1966(昭和41)年卒

日立一高同窓会常北支部の令和元年度総会は、7月28日に五浦観光ホテル別館大観荘にて、17名の出席をいただき開催しました。

この総会で、平成30年度の事業報告と、収支決算並びに令和元年度事業計画について、慎重に審議しまして、いずれも全会一致で承認されました。

総会終了後、同会場で恒例の磯原支部と合同で懇親会を開催し、出席者相互に大いに盛り上がり、和気あいあいと歓談しました。

また、9月22日には、磯原支部及び高萩支部とゴルフ対抗戦を実施しまして、地域間の交流を図っております。



## 高萩支部

支部長 沼野新弥  
1965(昭和40)年卒



高萩支部の令和元年度総会は、4月21日、国民宿舎「鶴の岬」にて開催いたしました。出席者総数は31名でした。

年に1回の旧交を温める楽しい時間を持つことが出来ました。また皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

お惣菜の  
おいしいお店

**株式会社 飯村ストアー**

ひたちなか市東大島1丁目23番5号  
TEL: 029-274-3711 FAX: 029-275-8555

代表取締役 飯村 洋一 (昭和50年卒)  
飯村 康一 (平成15年卒)

## 国分支部

支部長 江間辰雄  
1982(昭和57)年卒

2019年度の国分支部総会は、多賀駅前ちゃんこ料理「松光」にて、勝田地区の日立産機システムのメンバー2名を含めた8名にて開催した。

ちゃんこ鍋を囲んで、会員相互の近況、ラグビーワールドカップ、令和元年の話題などで親睦を深めた。来年度は1泊での総会を計画しております。



また卒業生による軒昂会は、年2回の定例会を実施。昨年7月1日、第36回定例会を河原子海岸の「東洋館」にて21名が参加し開催した。「活き生きと健やかゆったり人生」のモットーで、健康、趣味の話題で絆を深めた。

恒例となった「たかし工房」の創作工房作品や、村上、白土先輩の岩魚の骨酒が振る廻られるなど、いつまでも変わらない先輩、後輩の間柄での楽しいひと時を過ごすことが出来た。

最後になりますが、日立一高、附属中学校の益々の発展と同窓会各位のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。



## 東海支部

支部長 鈴木宏文  
1965(昭和40)年卒

1. 春の叙勲 祝賀会  
平成30年春の叙勲で、平山忠昭(昭和35年卒)様が瑞宝小綬章をいただきました。有志21名で、平成30年12月15日に祝賀会を実施。



2. ゴルフ年2回・日帰り温泉年2回  
ゴルフコンペを4月22日・9月24日、日帰り温泉を5月24日・9月13日に実施、入浴・カラオケ・歓談で身も心もリフレッシュし親睦を深めています。



3. 令和元年度(第6回)日立一高同窓会東海支部定期総会  
令和元年10月27日(日)に、白聖会会長井上清様ご臨席のもと「いこい」で実施し、カラオケ、歓談で親睦・交流が楽しく出来た。



**HOTEL TERRACE**  
THE SQUARE HITACHI

皆様の様々なシーンをお手伝いいたします

ホテルテラスザスクエア日立  
〒317-0073 茨城県日立市常町1-20-3  
TEL 0294-22-5531(代表)  
URL http://square-hitachi.jp

創業100年の歴史と伝統  
**ホテル天地閣**

〒317-0074 日立市旭町2-6-13  
TEL 0294-22-0188 FAX 0294-22-0175  
URL http://www.tenchikaku.co.jp/

**日立第一高等学校同窓会限定プランのご案内**

ご利用料金  
お一人様 ~~¥6,000~~ **特典付き ¥5,500**  
(サービス料込・消費税別)

■利用条件:20名様以上 ■利用時間:3時間  
■飲み放題付き  
※20名様以下のご利用の場合別途宴席料が発生します

**特典**  
・ゆったりご利用3時間・横断幕作成無料  
・スクリーン、プロジェクター使用料無料

# 同窓生の活躍・近況

## キャリアサポート白聖会 活動報告

廣木 成治 1976(昭和 51)年卒  
柴田 裕一 1976(昭和 51)年卒

### ホームルームセミナー取材記

ホームルーム(HR)セミナーは、生徒さんが将来の進路や職業観について深く考えるきっかけづくりを意図して平成12年度から行われており、今年度も社会人講師(右表参照)による講義が令和元年10月19日(土)に開催されました。キャリアサポート(CS)白聖会では、同窓会ホームページ等を通じて、さまざまな職業分野の前記講師を広く募集し、学校側に紹介しています。取材当日は開会式で学校長挨拶や講師自己紹介等の後、各教室で質疑応答1時間の講義が2コマ行われました。講師の皆さんは、動画や写真等を使ってご自身の職業をわかりやすく紹介すると共に、その職業についてきっかけややりがい等を熱く語っておられました。生徒さんも皆、真剣な表情で話を聞いておられたのが印象的で、今回も生徒さんに非常に好評だったそうです。



## 講師の感想 HRセミナーを終えて

茂木 裕次郎 2008(平成 20)年卒

高校時代、体育教諭という夢を抱きながらも他の職についた私が、教育実習に続いて、母校の日立一高で再び「先生」と呼ばれる日が来るとは。「茂木先生」として、しっかりと貢献しなくては、そう思い授業が始まりました。

実際の授業では伝えたいことを話すことに夢中で、あっという間に時間が過ぎました。現場の先生方から見て、決して上手な授業とは言えないものだったでしょう。しかしながら、汗だくになり喉を枯らしたこの時間は、私自身、後輩達に伝えたい強いメッセージがあること。そして青春時代の三年間を過ごした日立一高に強い思い入れがあること。これらのことを改めて再認識することとなり、生徒の反応や質問を含め自分自身を見つめ直す貴重な機会となりました。

準備から当日まで、楽しい時間を過ごすこととなり、本当に感謝しています。また、次回呼んで頂いた際にはタイトル詐欺がないよう、さらにイケメン度を磨いて臨みたいと思っております。

### プログラミング教育支援活動記

CS白聖会では前記HRセミナー講師の他に、現在プログラミング教育支援も検討しています。

2020年度から小学生を対象にプログラミング教育が始まります。さらに中学校および高校にプログラミング教育やSTEM教育が導入されることになっています。このような流れは世界的に広まっていますが、日本では欧米や中国と比べてかなり遅れています。3年前に新教育課程が文科省から示されましたが、一向に進んでいません。その一つの要因に指導者不足が挙げられます。CS白聖会ではOBを対象に指導者講習会を行って準備を進めております。その成果を各地で行われるイベントなどで披露していきたいと思っております。さらにこのような活動を附属中学や高校にも広めていきたいと考えております。

## HRセミナー講師・演題(敬称略)

【附属中1・2年生対象】

講師名	(上)所属	(下)演題
三ツ堀 裕太	株式会社ユニキャスト代表取締役 「人とロボットが共に創る未来」	
古田土 和人	弁護士法人長瀬総合法律事務所 「弁護士の仕事について」	
牛田 憲幸 (昭和59年卒)	日本航空株式会社 「職業紹介(パイロット)」	
木下 侑紀 (平成21年卒)	北茨城市立明德小学校 「～世界は広い! 日立発、地球目線で私たちの未来を考える～」	

【高校1年次対象】

講師名	(上)所属	(下)演題
安孫子 陽一 (平成25年卒)	那珂記念クリニック 「当たり前前の日常のために ～とある検査技師のこれまでとこれから～」	
神永 文人	茨城大学名誉教授 「熱エネルギーの利用と環境問題」	
鈴木 政浩 (昭和58年卒)	日本原子力研究開発機構 「『誰にでもチャンスはある!』 出会いが人生を変える!』 ～夢のエネルギー開発に情熱を込めて～」	
大島 礼頌 (平成22年卒)	株式会社インフラトップ代表取締役 「経営者という生き方。20代で会社を 起業して、売却を成功するまで」	
緑川 由香 (昭和57年卒)	緑川・北代法律事務所 「法曹の仕事」	
澤畑 和宏 (昭和63年卒)	茨城新聞社地域連携室次長兼NIE事務局長 「茨城を健康にする! ～新聞はバランス栄養食です!!」	
茂木 裕次郎 (平成20年卒)	北茨城市消防本部北茨城市消防署 花ざかりの君たちへ ～イケメン消防士からのメッセージ～	
高安 紘子	株式会社ティーシーエー(日本旅行添乗員) 人生は自分の思ったようになる	

# 学年同窓会 開催報告

## 昭和45年卒 プチ学年同窓会

川口 雅志 1970(昭和45)年卒

昨年に続いて、6月1日に「まんぼう」において1年ぶりの高校時代のプチ同窓会を開催しました。

参加者は7名で、昨年よりは、2名ほど増えていますが、残念ながら1組と5組の卒業生だけでした。

卒業して約50年ぶりに会う人達もあり、昔話に花が咲くものの、体型、髪の毛なども変わっており、なかなか名前や顔が思い出せなかったりして苦笑いの連続でした。時の長さを感じます。

楽しい1日を過ごし、来年の再会を約束して解散しました。50年ぶりの学年同窓会も計画されており、何人わかるのか、仲間に出会えるのが、とても心配です。



### 昭和45年卒 学年同窓会について

今年開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、延期します。延期後の開催日は未定です。

## 平成25年卒 学年同窓会

幹事 安孫子 陽一 2013(平成25)年卒

令和元年8月10日(土)に、ホテルテラススクエア日立において、先生2名を含めて110名近くの参加をいただき、学年同窓会を開催しました。

近年の卒業生の中で、このような大規模な同窓会を開催するのはおそらく初めてでしたので、開催にあたっては正直不安しかありませんでしたが、事務局の方々のサポートのおかげで、なんとか無事に当日を迎えることができました。

同窓会では卒業アルバムや思い出の品々を展示したり、卒業記念DVDをスライドに映したりして、参加者が高校時代に思いを馳せるような工夫を施しました。卒業から6年以上が経過しましたが、その時間を感じさせないくらい、それぞれが当時の友人・仲間たちと語り、楽しめていたようで、開催者としてもとても嬉しく思いました。

「ひさしぶり」、そして「はじめまして」の方とも多く関わり、「開催してくれてありがとう」の声に包まれ、「いつかまた会おう」の声で溢れた今回の同窓会。最後まで、非常に有意義で、いつまでも心に残る大切な時間になりました。



## 白聖83号に因んでの感想 (R1.5.26)

大津 勉 1948(昭和23)年卒

前略 薫風ならず、初夏を思わせる昨今、第83号の広報紙「白聖」を頂戴し、まずは厚く御礼を申し上げます。日頃からの関係者のご尽力に敬意を表します。

さて、それらを読み、幾つかの感懐を覚えたので、ご迷惑を承知のうえで、ランダムに羅列をしてみます。あしからず、ご了承をお願いいたします。

(1) 私は、旧制日立中学校の最終5年生、第17回卒(昭和23年)、新制高校3年生への自動編入の第一期生(切り替え期)に該当します。故に米寿満88才が過去となりました。そして今月に入りまして、立て続けに同期生の訃報が掲載されました。山本博之氏(元日立市教育長)と杉田浩男氏(元常銀取締役)で、いささか残りが少なくなってきたものと思われ、淋しく、残念な思いがあります。しかし私たちの年代、多難な戦中・戦後を過ごしてきた者としては、黄泉の国へ何時行ってもおかしくはないので、むしろ今まで生かされてきたことに感謝する気持ちの方が優先します。なお珍しかった同期会「いちなな会」も実質的に傘寿をもって終了しております。

(2) 私事になりますが、生まれは1931年(昭和6年、満州事変)日立中心地域で、市役所と市民会館の線上にあります。当時、これも唯一存在のキリスト教系の双葉幼稚園にもお世話になりました。その後弁天町経由多賀地区に移りましたし、小中生時には、東京からや疎開先からのUターン現象もありました。

(3) 時節柄、学徒動員により、援農活動や日立海岸工場にも立ち入りしましたが、何と言っても敗戦の年の6月、B29による爆撃を直接目撃し(宮様見学のための振替え日程にて命拾い)、7月の艦砲射撃と焼夷弾攻撃を受け、家屋の焼失などがあり、敗戦は中学3年生の時、勉学面でも教材不足、学習環境の未整備は如実で、実力未だしの感でした。しかし熱血の先生たちもおられ、意志の薫陶は受け止めております。

さらに平和憲法の制定があったものの、まさに多大なマイナススタートの人生でした。

(4) 卒業後、戦後間もなく、日立多賀Wから那珂珂W(現ハイテク)に奉職をし、実践面での改善を積み重ねながら一応現役を完了しました。住所も勝田、ひたちなかに転住、ゆうに半世紀以上を経過しました。地域や職域の幹事さんもおられるようですが、私たちはみなさんの一時代前に属し、体験しております。さらに定年後は、生涯学習の延長線上で、まちづくりの社会活動や環境問題にも取り組みました。

(5) 話を戻しまして、「ある町の高い煙突」感想文、中2の寺崎千尋さんの「共存の街・日立」は、たいへん興味ある、有意義な良い文章とお見受けしました。

その昔、日立は農村・漁業の変哲のないまち・むらでしたが、赤沢銅山に結川、久原各氏の資本や、そして小平氏の大先達により、日立鉱業や日立製作所が創設され、まさに工業化の先駆となり、多くの施設、技術と共に、雇用が生まれ、関西、東北を始め、各地からの有為な人材の受け皿、育ちの場となりました。そして長年の血の滲むような先輩たちのご尽力により、公害問題も克服されたようにみえました。いまある東北の中核・日立市の発展は、これらの前提、基礎条件にあるものです。

(6) 部活動の報告がありました。私個人の趣味からすれば、卓球(学校では、腹を減らしており、片目で見逃していました)や弓道があり、草野球から高校野球には没入して、一高を含めて、何百という試合の応援をしてまいりました。甲子園に出場の際には、応援バス(御巣鷹山への航空機の墜落報道時)と新幹線利用と2度行っております。部活には掲載がないと思っていましたら、OB会の支援があると伺い、いささか納得しました。また義兄はラグビー部、実弟は卓球部に属していました。

(7) さらにこれらの体験から、校歌で、旧(太平洋の旭を受けて・・・)、新(神峰の山のさみどり・・・)の両方を唱うことが可能で、帽子の徽章も両方を承知しております。

長くなりますので、この辺で失礼をしますが、みなさんのご健勝、ご精進をご祈念申し上げます。

## 同窓生の情報をお寄せください

日立一高同窓会白聖会では、より広く会員相互の交流を深めるため、卒業生が活躍している情報(大会入賞、新聞掲載など)、会員に向けての投書を募集しています。

いただいた情報は、会報やホームページを通して、発信していきたいと考えております。自薦他薦は問いません。ぜひ、みなさまの近況をお知らせいただければ幸いです。

〒317-0063 日立市若葉町3-15-1  
投稿先 日立一高同窓会白聖会 宛  
(メール: info@hitachi-hakua.jp)

## 茨城新聞社 代表取締役社長

沼田 安広 1978(昭和53)年卒



令和元年11月、ラグビーW杯の興奮が冷めやらぬ中、全国高校ラグビー県予選決勝戦が行われました。35年ぶりの花園行きを目指した日立一は茗溪学園に完敗し、古豪復活とはなりませんでした。

私が茨城新聞社に入社したのは昭和57年。茨城新聞は伝統的に高校をはじめとする県内のスポーツ、文化の報道に力を注いでいます。母校の活躍を紙面で伝えられるのはうれしい限りです。

スポーツ取材の中で夏の高校野球茨城大会は別格扱い。新人の時にスコアブックの付け方を勉強し、第67回大会(昭和60年)も取材陣に加わりました。準々決勝の時でしたか、球場にいた同級生で野球部OBの私立高監督が母校の快進撃に「甲子園に行けるぞ」と太鼓判を押しました。

予想的中。悲願達成に立ち会えたのは記者冥利に尽きます。取材先である県警の大先輩は居ても立ってもいられず、甲子園に応援に出かけました。おみやげにペナントを頂いたことを覚えています。

平成元年6月25日に茨城新聞社代表取締役社長に就任しました。スポーツだけでなく、学業や文化、地域の活動で日立一高の活躍を祈っています。母校のニュースはぜひ茨城新聞でご覧ください。



## いばらき山の会

割貝 隆仁 1979(昭和54)年卒

県立高校で教鞭を執りつつ山岳部の顧問を引き受けて以来、生活の基本スタンスを山に置くようになった。春夏秋冬山に向かい、現在では日立一高山岳部顧問時代、インターハイ出場を重ねた登山家市毛努氏とともに「NPO 非営利活動法人 いばらき山の会」として、会員を山へ案内している。

福島県二本松市に聳える安達太良は高村光太郎「智恵子抄」の「ほんとうの空」で知られた山だ。私は積雪期この山を30回ほど登っている。しかし常に山頂を踏めるわけではない。去る令和2年1月3日は峰の辻付近でガスが出始め、いつもの風によりトレースが消えかかっていた。ホワイトアウトの危険を感じ、くろがね小屋で温泉に入り下山した。くろがね小屋は年中無休で山人を迎え入れてくれる、岳温泉の源泉が沸く極上の小屋だ。今年度いっぱい営業した後数年かけて建て替えるとのこと。ランプが灯りカレーが美味しいくろがね小屋の佇まいを、次世代に残してくれることを願う。

# 部活動 OB 会 活動報告

## ラグビー部 OB 会

会長 黒沢 祐士  
1976(昭和 51)年卒

令和元年は、わが国でアジア初のラグビーワールドカップが開催され、全国的にラグビー熱が高まる中、「ONE TEAM」や「笑わない男?」が流行語になったり、ラグビー日本代表が多文化共生やダイバーシティのモデルケースと評されるなど、数々の社会現象がもたらされました。

私たちOB会も、ワールドカップ観戦バスツアーを催行し、現役部員とともに世界トップレベルのラグビーを肌で感じ、興奮と感動を共有してきました。

そのような記念すべき年に、ラグビー部は県新人戦で28年ぶりの準優勝を成し遂げ、続く関東新人大会には県内公立学校として初出場を果たし、その後の関東大会にも23年ぶり29回目の出場、全国大会県予選でも準優勝と、かつて県内無敵を誇った古豪復活に向けて、着実に進化・前進した1年となりました。

また、昨年3月卒業の部員たちは京都大学・慶応大学・筑波大学など多数の著名大学に現役合格しており、学業との両立も図られています。

附属中ラグビー部も、少数精鋭ながら5年連続の関東大会出場を果たしており、OB会としても、指導者・保護者との連携を図りながら、今後ますます現役部員への支援を強化していきたいと思っております。

## サッカー部 白蹴会

副会長 和田 義秀  
1983(昭和 58)年卒

令和元年 11 月 23 日ホテル天地閣において、サッカー部創部 70 周年記念式典、祝宴が開催されました。

50 名を超える OB と関係者と共に、にぎやかな中で旧交を温め、現役へのエールとして、ユニフォームを寄贈するなど大いに盛り上がりしました。

式典に先立って、記念事業も企画。元サッカー日本代表・加藤久氏を講師に招き、「サッカーが教えてくれたもの」という演題で講演会を開催しました。日立一高、附属中、日立工業現役メンバー、日立市内サッカー関係者、サッカー部父母の会など約 200 名の参加をいただき、貴重な話を聞く機会となりました。

また、70 周年記念誌も作成し、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

白蹴会では、元旦の初蹴りに始まり、日立工業高校との定期戦、日立市内サッカー部 OB の交流試合への参加、ホームページを父母の会と運営したりなど、年間を通して活動しております。何より現役サッカー部の活躍に期待しています！



## 硬式野球部 OB 会

会長 鈴木 信夫  
1971(昭和 46)年卒

身心共に健やかな高校時代に体験するスポーツ競技は、人生の中で思い出、仕事、生活にきつと大きな位置づけをするものと考えています。

その中で同じ野球を選び切磋琢磨する後輩たちを見守る我々が協力できることは、少しでも充実した設備で不安なく野球練習に打ち込める環境づくりではないかと思っております。

そのためにも、OB 会の会費が役に立つよう日立一高野球部会員 600 名強の方々には是非協力をお願い申し上げます。そして時間が取れるときは、試合会場に向いて「頑張れよ!!」の声援をかけてあげてください。そうすることで繋がりを感じ取り、彼らも又、後輩思いの OB に育ってくれるものと考えております。

尚、今年度の部員は、1年生11名、2年生13名、マネージャー5名の計29名で、中山監督のもと、活動しております。春の甲子園につながる秋の県大会は、2回戦は下館一の3対1で勝ち、3回戦は、常総学園に10対1で負けてしまいました。残された甲子園への道は、夏の大会だけになりましたが、残された期間で、チームを最高の状態に仕上げ、大会に臨んでくれるものと期待している今日この頃です。皆さんと力を合わせて、一緒に応援しましょう。

## 部活動 OB 会活動報告 寄稿のお願い

会報を通し、各 OB 会のさまざまな活動状況を、より広く同窓生に伝えていきたいと考えております。文章(400文字程度)、写真(1枚以上)、執筆者のお名前・卒業年をぜひ以下までお送りください。

〒317-0063 日立市若葉町 3-15-1  
投稿先 日立一高同窓会白聖会 宛  
(メール: info@hitachi-hakua.jp)

# 会計報告 2018 (平成 30) 年度

2018 (平成 30) 年度: H30.10.1~R 1.9.30  
2019 (令和元) 年度: R 1.10.1~ R 2.9.30

## 2018(平成 30)年度の協賛金寄付状況

今年度も、賛同者 1,000 名以上を目標にしました。同窓会報「白聖」の配布数は、20,288 名であり、賛同頂いた人数は 602 名と、昨年より 15 名ほど増加しました。尚、住所不明のため返送郵便数は、322 名でした。

従って、賛同率は、約 3.0%でした。総額としては、2,476,000 円であり、昨年度より賛同者が増えたため、約 90,000 円増加しました。

今年度も、同窓会報「白聖」を会員全員に配布し、内容をより充実させ、同窓会の動向だけでなく同窓生の活躍・近況、在校生の活躍などを多く取り上げます。会員のみならずには現在の動向をご理解いただき、会報購読協賛金にご賛同いただきご協力をお願い申し上げます。

## 購読協賛金 納入のお願い



日立一高同窓会白聖会は、2017年から、本誌会報「白聖」の形態を変え、発行部数を約20,000部に増刷し、住所の判明している卒業生全員に配布し、情報をお届けできるように致しました。

それに伴い発送コストが発生いたしますので、購読協賛金という形でご負担をお願いできれば幸いです。(1口:2,000円からです。何口でも構いません)

みなさまのご協賛が、現役世代への支援(国際交流派遣費用、部活・行事の後援など)につながります。

今後も、同窓会で支援を続けていきたいと考えておりますので、どうかみなさまのご協賛をお願いいたします。

科目	平成 30 年度決算	令和元年度予算
収入の部		
繰越金	1,685,675	1,337,220
会費	2,554,800	2,592,000
特別会費	970,000	1,350,000
購読協賛金 他	3,576,375	2,949,780
合計	8,786,850	8,229,000

科目	平成 30 年度決算	令和元年度予算
支出の部		
総会費	17,306	70,000
会議費	1,274	10,000
事務費	1,636,181	1,854,000
旅費	0	20,000
会報制作発送費	2,133,469	2,200,000
支部交際費	60,000	50,000
慶弔費	5,000	50,000
母校助成費	3,585,600	3,270,000
白聖祭援助費	0	450,000
体育祭	150,000	0
卒業記念品費	67,600	70,000
部活後援費	468,000	450,000
国際交流派遣費	1,300,000	1,300,000
周年行事積立金	1,600,000	1,000,000
予備費	10,800	705,000
合計	7,449,630	8,229,000

特別会計 周年行事積立金  
4,009,844 円 (令和元年 10 月 1 日現在)

## 物故者

前号配布後～今号発行までに判明した方を掲載しました。尚、敬称は略します。

(卒年)	(氏名)	(卒年)	(氏名)	(卒年)	(氏名)	(卒年)	(氏名)
昭和 11	宇佐美博之	昭和 23	鈴木義一	昭和 30	藤田卓也	昭和 35	蛭田輝男
昭和 13	高津戸信	昭和 23	鈴木勝己	昭和 30	福地譲	昭和 35	出頭省治
昭和 17	森秀世	昭和 24	山本博之	昭和 31	関康平	昭和 36	鳥居塚正敏
昭和 18	小沼丈夫	昭和 24	小森幸雄	昭和 31	片寄和夫	昭和 36	添田元一
昭和 18	関允	昭和 24	杉田浩男	昭和 31	落合俊次	昭和 37	澤島勝利
昭和 18	渡辺義朗	昭和 25	大和田健二	昭和 32	会沢範稔	昭和 38	古高達也
昭和 19	宇佐美栄	昭和 25	中條勝之	昭和 32	海老沢正孝	昭和 39	緑川七工門
昭和 20、旧職員	長谷川智二	昭和 26	高野齊家	昭和 32	斉藤収弘	昭和 39	芳賀紀雄
昭和 20	榎村親	昭和 26	瀬谷昌弘	昭和 32	海老根信子	昭和 39	鈴木勝利
昭和 20	見澤典雄	昭和 26	高野齊家	昭和 32	鈴木統夫	昭和 40	石川貞雄
昭和 20	佐藤昭三	昭和 27	小林昌	昭和 32	坪道雄	昭和 41	鈴木正路
昭和 20	西宮久司	昭和 27	大内祥巳	昭和 33	山崎久弥	昭和 42	今橋守男
昭和 20	額賀辰雄	昭和 27	藤原伊佐美	昭和 33	星雄一郎	昭和 44	岩崎康三
昭和 20	長谷慈郎	昭和 28	松本博美	昭和 33	青山恵一	昭和 45	桜井茂雄
昭和 20	渡部昭	昭和 29	榎村寿文	昭和 33	大和田基平	昭和 47	及川温
昭和 22	柴田大丈	昭和 29	滑川久	昭和 34	佐々木博信	昭和 52	白土和彦
昭和 22	岩瀬好樹	昭和 29	佐藤義信	昭和 34	染谷武	昭和 53	石川仁
昭和 22	小倉文司	昭和 29	市毛明	昭和 34	野口誠	昭和 54	根本幸弘
昭和 23	熊谷達夫	昭和 29	鈴木賢	昭和 34	和田仁一	昭和 58	福田光子
昭和 23	広島九仁男	昭和 30	岡崎浩一	昭和 35	沼田和教	平成 5	橋本恵美
昭和 23	生田目喜敏	昭和 30	近野茂	昭和 35	辻井敏茨	旧職員	立花八郎
昭和 23	平野宏	昭和 30	大高広志	昭和 35	鷹嶋勝久	旧職員	鈴木和子

造園 設計施工管理  
植木 生産販売

## 株式会社 橋本農園

橋本 美晴 (昭和 46 年卒)

〒319-1105 茨城県那珂郡東海村豊岡 466  
電話: 029-282-2388  
FAX: 029-287-0618  
URL: http://www.h-noen.com

フラ&タヒチアンダンススタジオ運営  
ショー・イベント企画構成ダンサー派遣  
ハワイ関連コンサルタント業務

## プメハナ・フラ & タヒチアンダンス スタジオ

代表取締役 小又 千賀子 (昭48年卒)  
〒316-0004 日立市東多賀町5-10-5  
TEL0294-33-1531  
Cell 090-1060-8328

## 五浦観光ホテル

茨城県北茨城市大津町722

(北茨城 I.C.・いわき勿来 I.C.より 15 分)

TEL 0293-46-1111 FAX 0293-46-5748

https://www.lzura.net

村田 章 (昭和 54 年卒) 村田 文彦 (昭和 55 年卒)

雪印メグミルク・  
小岩井牛乳宅配センター

## 宅配センターデスモ日立店

〒317-0072 日立市弁天町2-18-7  
TEL 0294-21-3302 FAX 0294-23-2641

代表 小野 裕二 (昭和49年卒)

# 毎日新聞で 日立一高卒業生の特集が連載!

2018年8月から9月末までの毎週水曜日に、毎日新聞朝刊「ぐるっと首都圏」の「母校をたずねる」という企画で、8回にわたり日立一高が特集されました。

昨年の会報では、第1~4回を掲載したため、今年は、第5~8回を掲載します。それぞれの青春時代に思いを馳せながら、ぜひお読みください。

- 第5回 1984(昭和59)年卒 大金直樹さん
- 第6回 1958(昭和33)年卒 田中信太郎さん
- 第7回 1981(昭和56)年卒 佐々木ひとみさん
- 第8回 卒業生それぞれの思い出

毎日新聞 2018年9月5日(水)号

## 株式会社 魚武

和食屋 まんぼう

日立市弁天町1-11-10 TEL.21-7700

仕出し専門店 魚武

日立市弁天町1-12-14 TEL.22-0241

日立ゴルフレストラン

日立市滑川町3033 TEL.22-5659

代表取締役 鈴木信夫 (昭和46年卒)

東京海上日動火災保険株式会社  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

## 超保険

## 有限会社 かみね保険事務所

〒317-0065 茨城県日立市宮田町3-9-2

TEL.0294-21-1390 FAX.0294-21-1391

E-mail kamine@kamine-h.jp

## 株式会社 清水石材工業

代表 清水正建 (昭和55年卒)

☎ (029) 285-3300(代)

FAX (029) 285-3317

☎ 0120-853301

PCでもスマホでもFMひたちが聴けます!



インターネットで「リスラジ」と検索♪リスラジ



〒317-0073 日立市幸町1-19-1

TEL.0294-33-5689

Mail:822@hfm.or.jp HP:http://www.hfm.or.jp

毎日新聞 2018年9月12日(水)号

ぐるっと首都圏

## サッカーにささげた日々

「FC東京代表取締役社長 大金直樹さん」=1984年度卒

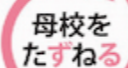


茨城県日立市出身。慶応大学体育専門学校卒。1984年度卒業後、東京ガスに就職。東京ガスが母体となり設立されたFC東京に加入。2009年卒業後、代表取締役社長に就任。日立一高サッカー部を創設し、現在は代表取締役社長として活躍中。

### 殿堂入り果たしたOBも

甲子園大会出場経験を持つOBとして、今年も活躍を続ける。日立一高サッカー部は、今年も甲子園大会に出場し、優勝を果たした。OBとして、母校を支援し、後進を指導している。

卒業生「私の思い出」募集。茨城県日立一高卒業生のある方の「私の思い出」を募集します。ご卒業後、ご活躍中や、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年、氏名、年齢、職業、住所、電話番号、またはメールアドレスを明記の上、〒317-0073 日立市宮田町3-9-2 かみね保険事務所へお送りください。締切は9月12日です。詳しくは毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。



ぐるっと首都圏

## 読書量は人生で一番

児童文学作家 佐々木ひとみさん =1981年度卒

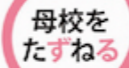


茨城県日立市出身。日立一高卒業後、児童文学作家として活躍中。読書が大好きで、読書量は人生で一番と語る。代表作として、『おぼろげな月』がある。

### 発行部数2万部の同窓会誌

日立一高同窓会誌「絆」が発行部数2万部を突破した。卒業生からの支持が厚い。今年も多くの卒業生が読者登録を済ませ、同窓会誌を楽しんでいる。

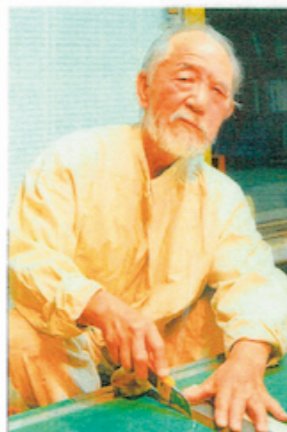
卒業生「私の思い出」募集。茨城県日立一高卒業生のある方の「私の思い出」を募集します。ご卒業後、ご活躍中や、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年、氏名、年齢、職業、住所、電話番号、またはメールアドレスを明記の上、〒317-0073 日立市宮田町3-9-2 かみね保険事務所へお送りください。締切は9月12日です。詳しくは毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。



ぐるっと首都圏

## 仲間と部活動が原点

現代美術家 田中信太郎さん =1958年度卒

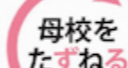


茨城県日立市出身。現代美術家として活躍中。日立一高時代の仲間と部活動が原点と語る。代表作として、『静かなる革命』がある。

### 節度と礼儀をきまぬ 服装自由化

日立一高が制服の着用を自由化し、服装の自由化を進めた。卒業生からは、節度と礼儀をきまぬ服装が増えたと指摘されている。

卒業生「私の思い出」募集。茨城県日立一高卒業生のある方の「私の思い出」を募集します。ご卒業後、ご活躍中や、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年、氏名、年齢、職業、住所、電話番号、またはメールアドレスを明記の上、〒317-0073 日立市宮田町3-9-2 かみね保険事務所へお送りください。締切は9月12日です。詳しくは毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。



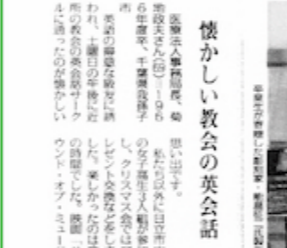
ぐるっと首都圏

## 卒業生それぞれの思い出

8月から2月にかけて連載してきた「母校をたずねる」。茨城県日立一高には、多くの卒業生の方々の思い出が寄せられました。最新号は、写真と毎日新聞ニュースサイトで掲載した「私の思い出」の一部を紹介します。



茨城県日立一高 同窓会で作る思い出も。同窓会では、卒業生がそれぞれの思い出を語り、絆を深めています。



懐かしい教会の英会話。日立一高の教会で英会話の授業が行われ、卒業生からは懐かしさを感じている。



50年以上たち訪れた。卒業生が50年以上経過後も母校を訪れ、思い出を語り合っている。



毎日新聞 2018年9月19日(水)号

技術オンリーでない価値の提供  
株式会社 SAY コンピュータ  
http://www.saycom.jp

代表取締役社長 志賀 利行 (昭和55年卒)

●本社 〒312-0062 茨城県ひたちなか市高崎 1-18-11 (JR常磐線「佐和」駅下車、徒歩約1分) TEL.029-202-3006 FAX.029-202-3009  
●秋葉原オフィス 〒101-0044 東京都千代田区豊洲 2-4-5 オオクニビル8F (JR有明線「新豊洲」駅下車、徒歩約3分) TEL/FAX.03-5577-5277

## 株式会社 ほけん相談室

正しい保険情報と合理的な保障を提供します



代表 坂場 美泉 (昭和55年卒)

## きものことならおまかせ下さい

お仕立、お手入れ、染め替え、仕立て直し、ご相談下さい。

## 余佐藤呉服店

日立市役所脇 TEL.(21)3318

佐藤 雄市郎 (昭和40年卒)

## メガネの ナリタ

〒317-0065 日立市助川町1-7-13 (株)成田メガネ店  
代表取締役 成田 太郎 (昭和36年卒)

●本店 ☎0294-21-4717(代)  
●多賀店 ☎0294-36-0336(代)



## 株式会社 エース・ショールームセビア

住所: ひたちなか市中根 4819-5 TEL: 029-276-5300  
営業時間: 9:00-18:00 定休日: 毎週水曜日

代表取締役 中村 瑞人 (昭和45年卒)  
中村 将人 (平成12年卒)

## 協賛広告募集について

毎年、約20,000部を発行している本誌「白壁」に、みなさまが在籍されている、企業・クラブなどの広告を掲載いたします。広告の内容は、事業の紹介やアピール、人材募集の案内など、会誌を毀損させないものであれば、どのようなものでも構いません。みなさまの協賛をお待ちしております。(1刷8,000円、2刷15,000円)

お申し込み・お問い合わせは、同窓会事務局まで、お気軽にご連絡下さい。(info@hitachi-hakua.jp)

毎日新聞 2018年9月26日(水)号

# 令和元年度 白聖会役員

○:新任者

役職	氏名	卒年	郵便番号	住所
会長	井上 清	昭和39年	319-1222	日立市久慈町7-2-17
副会長	野口 不二子	昭和37年	319-1541	北茨城市磯原町磯原73
	鈴木 欣一	昭和41年	316-0015	日立市金沢町4-13-36
	○山名 康友	昭和44年	319-1704	北茨城市大津町北町797
	中村 瑞人	昭和45年	312-0011	ひたちなか市中根4819-5
	青木 俊一	昭和49年	316-0034	日立市東成沢町3-7-7
監事	森 秀明	昭和52年	316-0006	日立市末広町2-1-25
	小野 勝久	昭和36年	316-0002	日立市桜川町3-4-17
	坂場 美泉	昭和55年	317-0071	日立市鹿島町1-11-11

役職	氏名	卒年
常務理事	椎名 敦史	昭和48年
常任理事	山本 忠安	昭和29年
	森 秀男	昭和29年
	森嶋 宏	昭和34年
	森嶋 鎮一郎	昭和35年
	沼田 明博	昭和36年
	松崎 武久	昭和38年
	沼野 新弥	昭和40年
	○鈴木 宏文	昭和40年
	川崎 和典	昭和41年
	五来 敬一	昭和46年
	伊藤 智毅	昭和47年
	江尻 寿憲	昭和47年
	太田代 紀子	昭和47年
	鹿志村 高道	昭和48年
	小又 千賀子	昭和48年
	秋山 啓市	昭和50年
征矢 亘	昭和51年	
村田 章	昭和54年	
理事	松田 久長	昭和22年
	佐藤 義夫	昭和28年
	荒川 俊男	昭和29年
	石川 元之	昭和29年
	中根 教文	昭和29年
	松本 定信	昭和29年
	茅根 一弥	昭和30年
	根本 經政	昭和30年
	茅根 茂彦	昭和30年
	○橋本 寛男	昭和31年
	高林 由幸	昭和36年
	松本 俊一	昭和36年
	海野 透	昭和36年
	成田 壯太郎	昭和36年
	三浦 政晴	昭和36年
	○立川 伸平	昭和36年
三代 弘美	昭和37年	
酒井 次男	昭和38年	

役職	氏名	卒年
理事	樫村 寿道	昭和39年
	樋口 一男	昭和39年
	○作山 英一	昭和39年
	高岡 洋	昭和40年
	石川 峻	昭和40年
	畑中 孝	昭和40年
	大森 廣幸	昭和41年
	鈴木 起一	昭和41年
	丹 誠一郎	昭和41年
	沢山 洋二	昭和41年
	○高久 利夫	昭和41年
	志賀 秀之	昭和42年
	三沢 俊介	昭和42年
	橋 政一	昭和42年
	前野 房三	昭和43年
	大金 博	昭和43年
	野沢 孝雪	昭和43年
	鈴木 茂美	昭和44年
	川口 雅志	昭和45年
	照沼 昇	昭和46年
	嶋崎 順一	昭和48年
	小野 幸一	昭和48年
	山名 玲子	昭和48年
	大津 政美	昭和49年
	高星 秀穂	昭和49年
	佐藤 弘	昭和51年
和田 祐司	昭和51年	
○鈴木 尚	昭和51年	
岡部 英明	昭和52年	
前田 利勝	昭和52年	
○佐々木 悦子	昭和52年	
○前田 幸子	昭和52年	
玉木 崇之	昭和53年	
征矢 裕	昭和53年	
清水 正建	昭和55年	
村田 文彦	昭和55年	

【事務局】

役職	氏名	卒年
理事	奥田 茂樹	昭和55年
	○鈴木 さつき	昭和55年
	三森 祐敦	昭和57年
	松田 考史	昭和57年
	川又 光久	昭和57年
	江間 辰雄	昭和57年
	三富 健史	昭和58年
	佐藤 貢一	昭和59年
	大森 満	昭和59年
	内山 庄栄	昭和59年
	大高 文昭	昭和60年
	酒井 雄一	昭和61年
	山本 晃裕	昭和62年
	高橋 学	昭和63年
	○松本 一人	平成2年
	本田 浩一	平成3年
塙 明美	平成4年	
大窪 玲生	平成5年	
片岡 邦夫	平成6年	

令和元年12月現在

役員	10名
常任理事	18名
理事	74名

計 102名

本会は、役員・常任理事・理事によって、本会の目的達成のため総会で決定した事業に取り組んでおります。組織的に進めていくためには、職域・地域・女性会各支部に加えて、卒業年会員同士の連帯・連携が重要となりますが、現在では、全ての年代に理事がいるわけではありません。つきましては、事務局から各卒業年会員に代表である理事の選出をお願いさせていただきますので、ご協力よろしく申し上げます。

# 同窓会支部一覽

支部	氏名	卒年	郵便番号	住所	電話番号
常北	高久 利夫	昭和41年	319-1702	北茨城市大津町2319-5	0293-46-1972
磯原	大森 廣幸	昭和41年	319-1541	北茨城市磯原町磯原3-52	0293-42-1383
高萩	沼野 新弥	昭和40年	318-0021	高萩市安良川693	0293-22-4895
豊浦・日高	立川 伸平	昭和36年	319-1411	日立市川尻町7-15-13	—
日立	椎名 敦史	昭和48年	317-0077	日立市助川町1-4-24名和ハイツ105	0294-23-1237
多賀	橋 政一	昭和42年	316-0013	日立市千石町3-17-5	0294-35-3090
ひたちなか	清水 正建	昭和55年	312-0002	ひたちなか市高野1210	029-285-3300
笠間	畑中 孝	昭和40年	309-1721	笠間市橋爪789-4	0296-77-4170
県央	森嶋 宏	昭和34年	311-1134	水戸市百合が丘9-77	029-240-0017
東海	鈴木 宏文	昭和40年	319-1101	那珂郡東海村石神外宿1587	029-282-1588
東京	玉木 崇之	昭和53年	154-0002	東京都世田谷区下馬2-13-24	03-3795-8315
日立市役所	岡部 和彦	昭和51年	319-1233	日立市神田町920	0294-52-6283
日鉱	佐藤 貢一	昭和59年	317-0056	日立市白金町1-1-2 日鉱金属(株)精銅課	0294-23-7289
旧多賀工場	川又 光久	昭和57年	313-0048	常陸太田市藤田町1052-1	0294-21-4420
国分	江間 辰雄	昭和57年	316-0023	日立市東大沼町2-18-4	—
日立オートモティブシステムズ	奥田 茂樹	昭和55年	319-0913	水戸市見川町2563-416	—
県警	三森 祐敦	昭和57年	310-0842	水戸市笠原978-6 茨城県警本部会計課 今橋博宣様扱い	029-301-0110
大みか事業所	松本 一人	平成2年	319-1293	日立市大みか町5-2-1 (株)日立製作所大みか事業所 関山紀幸様扱い	0294-53-1111
女性会 (休止中)日立ライフ	野口 不二子	昭和37年	319-1541	北茨城市磯原町磯原73	0293-42-1891

## 事務局日誌

### ◇令和元年度理事会・総会・懇親会

理事会・総会出席者:43名(幹事35名、一般8名)  
令和元年10月26日(土) ホテル天地閣 会費8,000円

### ◇「白聖83号」発行(平成31年4月30日)

### ◇支部活動(平成30年10月～令和元年9月)

県央支部	平成30年11月17日(土)	テラスザガーデン水戸
日立市役所支部	平成31年2月5日(火)	日立シビックセンター
ひたちなか支部	平成31年4月20日(土)	クリスタルパレス
高萩支部	平成31年4月21日(土)	国民宿舎鶴の岬
笠間支部	令和元年6月23日(日)	割烹須藤
東京支部	令和元年7月6日(土)	サンケイプラザ
多賀支部	令和元年7月12日(土)	中日軒
常北支部/磯原支部	令和元年7月28日(日)	五浦観光ホテル大親荘
豊浦・日高支部	令和元年9月5日(木)	日立金属日高クラブ
県庁白聖会	令和元年9月26日(木)	テラスザガーデン水戸

### ◇支部長交代のお知らせ(敬称略) 及び 支部廃止

常北支部	中根教文(昭和29年卒) から 高久利夫(昭和41年卒)
豊浦・日高支部	森嶋鎮一郎(昭和35年卒) から 立川伸平(昭和36年卒)
大みか事業部支部	小林毅(昭和56年卒) から 松本一人(平成2年卒)
東京支部	荒川英雄(昭和39年卒) から 玉木崇之(昭和53年卒)
日立ハイテク那珂支部	廃止 (支部長 小貫勝則)

### ◇幹事会(常任理事会、理事会含む)

令和元年5月25日(土)午後5時	日立一高白聖会館食堂 予算執行状況、会報白聖83号発行、 100周年に向けて
令和元年9月11日(水)午後5時	日立一高応接室 予算執行状況、理事・常任理事選出状況
令和元年10月3日(木)午後4時	日立一高白聖会館食堂 会計監査
令和元年10月3日(木)午後5時	日立一高応接室 平成30年度決算・令和元年度予算案報告
令和元年10月19日(土)午後5時	日立一高白聖会館食堂 常任理事会 平成30年度決算・令和元年度予算案審議
令和元年10月26日(土)午後3時	ホテル天地閣 平成30年度理事会・総会・懇親会
令和2年2月12日(水)午後5時	日立一高白聖会館食堂 令和元年度活動計画、会報誌作成状況
令和2年4月28日(月)	メールおよび郵送にて 会報誌内容審議

### ◇その他報告

白聖祭・ホームカミングデー  
新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

次年度理事会・総会・懇親会予定日  
令和2年10月25日(日) ホテル天地閣



2020（令和2）年度  
総会・懇親会

日時： 2020(令和2)年 **10月25日**（日）  
 総会 15:00～  
 懇親会 16:00～

会場： **ホテル天地閣** 日立市旭町2-6-13 TEL:0294-22-0188

会費： **8,000円**（当日徴収）

申込： 同封の **払込取扱票** の「全体同窓会総会」「同窓会懇親会」の「参加」に **○** を付けてください。

※ 新型コロナウイルス感染症の今後の広がりによっては、開催を中止する場合があります。  
 最新情報は、同窓会ホームページ（<http://hitachi-hakua.jp>）でご確認ください。

※ 6月の「第23回白璧祭」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。  
 そのため、白璧祭の同日に開催予定の「ホームカミングデー」も中止となりました。

## 購読協賛金 納入のお願い

日立一高同窓会白璧会は、2017年から、本誌会報「白璧」の形態を変え、発行部数を約20,000部に増刷し、住所の判明している卒業生全員に配布し、情報をお届けできるように致しました。

それに伴い発送コストが発生いたしますので、購読協賛金という形でご負担をお願いできれば幸いです。（1口：2,000円からです。何口でも構いません）

みなさまのご協賛が、現役世代への支援（国際交流派遣費用、部活・行事の後援など）につながります。

今後も同窓会で支援を続けていきたいと考えておりますので、どうかみなさまのご協賛をお願いいたします。

払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
02	口座記号	口座番号	金額
	001405	791571	千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名	茨城県立日立第一高等学校同窓会		料金
通信欄	郵便番号と住所を記入してください		備考
お申し込み人	〇〇-〇〇〇〇 〇市〇町〇-〇-〇		金額を記入してください
	平成 太郎		名前を記入してください
	(ご連絡先電話番号) 1234-56-7890		電話番号を記入してください
	日	附	印

振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号	金額
001405	千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名	ご依頼人
茨城県立日立第一高等学校同窓会	平成 太郎 様
金額	名前を記入してください
〇〇〇〇	
日	附
印	

## 編集後記

今号の発行に関しまして、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、お手元にお届けする時期が遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。学校行事や会合の中止・延期が続くことを大変心苦しく思いますが、同窓生間でも積極的に連絡を取り合いながら、この辛抱の時期を乗り越えていきましょう。またみなさまとお会いできることを楽しみにしております。今後も日立一高同窓会白璧会では、同窓生や在校生に関する情報発信、学年同窓会の開催支援などをはじめ、同窓生の交流や情報交換ができるような活動を進めていきたいと考えておりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。